

## 1. 大阪市教育行政基本条例・教育振興基本計画に基づく観点

豊かな人間性と創造性を育む教材の中に今日的課題が取り上げられており、学力の向上に配慮されている。自由や規範意識、権利と責任を重んじる態度の育成に配慮され、メディアリテラシーに触れる教材や「哲学的思考のすすめ」などの教材があり、自己の判断と責任で道を切り開くことができる能力の育成に配慮されている。また、平和学習や道徳心・社会性の育成に適した教材を取り上げるとともに、さまざまな古典作品が紹介され、我が国と郷土の伝統を尊重する態度を身に付けるよう配慮されている。加えて、スピーチやプレゼンテーションなどの言語活動を取り入れる教材もあり、表現力の育成に配慮されている。《②⑤⑧⑨⑩》

## 2. 教育基本法に基づく観点

有名な古典のほか、落語なども掲載され、伝統と文化が尊重されている。また自然や生命をテーマにした作品もあり、2・3年生では、環境についての意識を高めることができるよう配慮されている。《①④⑤》

## 3. 学習指導要領に基づく観点

各領域について、各学年とも大教材・小教材で構成され、生徒の関心・興味を喚起しつつ、バランスよく力を付けることができるように工夫されている。読み物教材においては国際理解や平和、共生・福祉とさまざまな社会生活に関わる今日的課題について思考を深められるものが多い。またその関連図書が数多く紹介されており、生徒の多様な興味に応え、学習が深められるような工夫がなされている。特に「読書案内」は脚注欄の末尾や資料編にも掲載されており、読書に親しむ態度が育成できるよう配慮されている。文章に文学的なものが多く、論理的思考力の育成については工夫が要するもの、手紙の書き方や、スピーチ、プレゼンテーションなど、書く力、話す・聞く力を高める内容について、日常生活に生かすことができる工夫が多くみられる。また、資料編には話すこと、書くことの題材例があり、発想を広げて伝えあう力を高めることができる。《①⑩》

## 4. 全国学力・学習状況調査の結果に基づく観点

ミニ雑誌編集の単元等、情報を読み取り、組み合わせる活動や完成作品例が多数示されている。話す・聞く活動についてはさらなる充実が求められるが、生徒の多様な思考・表現を支援する配慮がある。《①②④》

## 5. 外的要素に関する観点

教科書自体が重いものの、表紙はカラフルで親しみやすい。論説文の表や資料図なども鮮やかで興味をひく。文字の大きさはやや小さいが、1年生は少しフォントを大きくするなど工夫がみられる。《①②③》

## 6. 構成・配列に関する観点

本編・基礎編・資料編の3部構成で学習の深化や拡充を図りやすい。ただ、1年生の古文は量・質とも工夫が必要である。また「文法の窓」は発達段階を考慮して系統的に配列されている。《①②④》

## 7. 資料その他に関する観点

「これから一年間で学ぶこと」という付録は、シラバスの役割を果たして生徒に興味を持たせることができる。資料編には本編での古典学習を広げたり深めたりすることができる学習材が掲載されている。また、学習用語一覧は便利であるが、行間が狭く、工夫を要する。《①②③》

国語	[REDACTED]	平成28年度使用教科用図書選定にかかる学校調査会調査用紙 集約結果 学校図書
1. 大阪市教育行政基本条例・教育振興基本計画に基づく観点		
<p>単元ごとに設けられた「学びの窓」には読解を深めるための設問が豊富にあり、学力の向上に配慮されている。大阪にふさわしい新しい文化の創造をめざすことのできる内容に工夫が求められるものの、古典文学には現代生活に関連付けて理解が深められるような工夫がある。また現代作家による各作品や、世界に届ける言葉、心を動かす言葉といった教材などは、豊かな人間性を備えるにふさわしい。学んだ語句を言語活動の中で運用できるような総括的な資料や、文法的知識の配列に工夫が必要であるが、「絆」「生命」などの項立てや、手話・点字に関する教材など道徳心・社会性の育成について配慮されている。《⑤⑦⑧⑨》</p>		
2. 教育基本法に基づく観点		
<p>外国作品や近隣の文化を尊重する教材が取り上げられており、幅広い考え方が身に付く。各学年に生命の単元や職業に関する教材が取り上げられている。1年生は、環境を扱う教材の充実に工夫を要するが、古文については十分な量がある。《①④⑤》</p>		
3. 学習指導要領に基づく観点		
<p>変化の激しい現代社会を正しくとらえ見通す力をつけることを目指した教材が多数取り上げられており、知識と教養を身に付けさせることができる。課題を発見し、解決するための交流学习や体系的な学習、振り返り、実際の言語生活へのフィードバックという学習過程で構成されている。特に、交流や共有を軸とする言語活動を基本と位置づけ、話し合い・相互評価などを積極的に取り入れて適切に表現し伝えあう能力の育成を図っている。その中で思考力や判断力も育成できる構成となっている。「書く活動」の例文について工夫が必要である。読み物教材は解説が少なく、「話す・聞く」活動と結びつけるには工夫が必要なものの、数多く取り扱われており、重厚な作品が多く取り扱われている。《①⑫》</p>		
4. 全国学力・学習状況調査の結果に基づく観点		
<p>マルチメディアの活用に関連付けた情報活用の教材が取り上げられている。意見交流の方法についての説明に工夫が必要である。また、「学びの窓」や「脚問」で表現を吟味する練習を設定している。《①②④》</p>		
5. 外的要素に関する観点		
<p>表紙は堅牢でPUR製本を用いている。装丁は落ち着きがあり格調高い。挿絵が大きすぎるものがあるものの、文字は明朝体、教科書体を使い分ける工夫が見られる。《①②③》</p>		
6. 構成・配列に関する観点		
<p>1年の教材の難易度が高く、古典教材の量が多く感じられるが、発達段階を考慮し、鑑賞力を高めるための教材が選ばれている。また、言語事項について内容相互の密接な関連に配慮されている。《①③》</p>		
7. 資料その他に関する観点		
<p>小学校で学習した作品なども取り扱い、生徒が興味を持ちやすいよう配慮されている。巻末の言語に関する説明や設問の難易度について整理が必要なものの、書き込みをしやすい作りになっており、自学自習に役立つ。《①②③》</p>		

国語	[REDACTED]	平成28年度使用教科用図書選定にかかる学校調査会調査用紙 集約結果 三省堂
<p>1. 大阪府教育行政基本条例・教育振興基本計画に基づく観点</p> <p>学習者が確かな目的と見通しを持ち、より良い学び方を工夫しながら学習できる。またその成果を生かすことのできる内容である。論理的思考力を高めるための教材や、漢字・文法など言語についても段階的に学べる工夫がある。また「達人のこぼし」やパラリンピック出場選手の文章など、豊かな人間性や自己の判断と責任で道を切り拓くことのできる能力を養える内容である。グローバル化の進展にともない、情報教育に関する文章教材の取り扱いが求められるものの、全体的に人間形成と言語能力面との調和的な育成が図れるよう配慮されている。大阪出身作家の作品も取り入れられている。《②⑤⑥⑦⑧⑨》</p>		
<p>2. 教育基本法に基づく観点</p> <p>職業に関する教材、日本文化の理解がさらに深まる教材がやや少ないものの、幅広い知識を身に付け視野がひろがる教材や日常生活と結びつけた教材、手塚治虫のマンガと対応させた教材など、生徒の興味関心を引く工夫を凝らしている。《①④⑤》</p>		
<p>3. 学習指導要領に基づく観点</p> <p>問題を解決する方法や思考のポイントが図解モデルで示されているので、新たな学習に取り組むとき、習得した学び方を活用できるようになっている。話す・聞く・書くなどの言語活動に関わる教材が豊富で、それぞれに「学習の流れ」が示されているため学習の見通しが立てやすい。しかも、取り上げる内容が日常生活から社会生活へと広がるように配慮されており、防災など実生活に生きる豊富な教材がそろえられている。さらに、その形も個々の学習を保障しつつ、「ワールドカフェ」「ピブリオバトル」など生徒の関心をひく「協働の学び」を取り入れながら、思考力、表現力などを高めることができるよう工夫されており、「アクティブラーニング」にも対応した活動が充実している。さらに、並行読書、発展読書につながるような内容もあり、読書に親しむ態度の育成にもつながっている。巻末の「考える広場」は生徒の思考力を高めようとする意図がうかがえる。《①⑫》</p>		
<p>4. 全国学力・学習状況調査の結果に基づく観点</p> <p>協働的な活動を意識した作りになっている。系統的な読書案内によって目的に応じて本を読み必要な情報を集める力の育成ができる。グラフの読み取りを用いた文章があればなお良い。《①②》</p>		
<p>5. 外的要素に関する観点</p> <p>文字の大小の変化がわかりやすく読みやすいが、フォントは教科書体の方がのぞましい。挿絵のタッチがやや温かみに欠けるものの、単調にならないように配置されており、挿絵・写真の量は程よい。詩や韻文ではあえてそれらを省略し、生徒自身に想像させる工夫も感じられる。《②③》</p>		
<p>6. 構成・配列に関する観点</p> <p>生徒の発達段階や学年の特性、学校行事や季節感などが、よく考慮された配列である。「学びを広げよう」に単元のねらいの再確認と発展的な内容が示されている。各領域の学習材がバランスよく配列されている。《①②③④》</p>		
<p>7. 資料その他に関する観点</p> <p>各単元に手引きがあるだけでなく、関連した言語事項がまとめられているので、生徒が主体的に自学自習しやすい。3学年を通じ共通のテーマでまとめる工夫がみられ、内容も充実している。《①②》</p>		

国語	[REDACTED]	平成28年度使用教科用図書選定にかかる学校調査会調査用紙 集約結果 教育出版
<p>1. 大阪市教育行政基本条例・教育振興基本計画に基づく観点</p> <p>各単元において、注意する語句の量と注釈が充実しているとともに、「みちしるべ」など学習のポイントがおさえやすいよう工夫されており、学力向上に配慮されている。言語事項についてまとめた箇所が少ないものの、教科書巻末の折込、見返しにも工夫があり、幅広い知識と教養を育むことができる。また味わい深く読み応えのある教材が多く、豊かな人間性と創造性を育むことができる。メディアの功罪に言及する教材や、自らの考えを書く内容が充実しており、自己の判断と責任で道を切り拓くことができる能力の育成に役立つ。郷土大阪については、2年生の方言の単元で取り扱われている。《②⑤⑦⑧》</p>		
<p>2. 教育基本法に基づく観点</p> <p>職業や国際平和について考えを深めさせる教材の充実が求められる。古典文学史年表等の資料が豊富であり、「日本の花火の楽しみ」など古典教材以外にも伝統的な日本の文化について学ぶことができる教材が取り上げられている。《②⑤》</p>		
<p>3. 学習指導要領に基づく観点</p> <p>読むことに関する教材の「みちしるべ」で示される学習課題は、学年の後半の単元に進むに従い「単元を貫く言語活動」を位置づけた授業にも利用できるよう工夫されている。社会での合意形成を可能にする「対話力」の育成を目標に、持続可能な開発のための教育(ESD)も視野に入れながら、様々な伝え合う力の育成に配慮した教材を設定している。フリップを用いて報告したり、図表を用いて提案したりするなど、多様な発信の手段が示されている。学年ごとに明治の文豪について写真を多く用いて紹介し、作品に触れさせているのが良い。1年生ではもっと日常生活に密接にかかわる内容が充実している方がよいものの、相互評価の場面が多く工夫がみられる。読書に親しむ態度を育むような題材や資料編に取り上げられている読み物教材の充実が求められるものの、「学びのチャレンジ」で自分の力で挑戦してみようという意図は良い。《①⑫》</p>		
<p>4. 全国学力・学習状況調査の結果に基づく観点</p> <p>2年生の絵コンテの読み方を扱う教材や3年生の「情報を編集するしかけ」は、情報の読み取りや活用に配慮されている。話す・聞く活動の取り扱いの充実が求められるものの、「言葉の自習室」で辞書を活用する学習ができる。《②③》</p>		
<p>5. 外的要素に関する観点</p> <p>新出漢字のフォント・濃さが大変見やすい。挿絵や写真が少ないものの、背を基調に落ち着いた色調である。《①②③》</p>		
<p>6. 構成・配列に関する観点</p> <p>巻末の漢字資料が充実しており、基礎基本の定着を図ることができる。小学校国語で学んだことの振り返りや高校で学ぶ作者や作品を集めるなど、1年生にやや難解な教材があると感じるが、発達段階を考慮して系統的に配列されている。《①②》</p>		
<p>7. 資料その他に関する観点</p> <p>資料編には、書き下ろしの文章や本編作品との関連作品など、発展学習を深めることができる資料が多数掲載されている。写真や絵などのビジュアル資料が多く、生徒が興味をもつことができるよう工夫されている。《①》</p>		

## 1. 大阪市教育行政基本条例・教育振興基本計画に基づく観点

随所にちりばめられた詩歌をはじめ、定評ある文学作品や新鮮な作品などもバランスよく、豊かな人間性や道徳心の育成に配慮した作品がとりあげられている。また、修学旅行記の編集など実践的な言語活動を含んだ単元の学習を通して確かな社会性を養うことができる。さらに1年生のはじめに関西弁が登場する作品もあり、郷土大阪を意識できる内容となっている。教材の内容が難しいものもあるが、小学6年間の学習をよくふまえた系統立てた構成になっており、学力の向上に配慮されている。著者の紹介に工夫が必要ではあるが、導入時の教材としてノートの取り方や音読・発表の方法の説明があるのもよい。(⑤⑦⑧⑨)

## 2. 教育基本法に基づく観点

職業についての教材の分量と、古典の取り上げ方に工夫が欲しい。しかし、多種多様な教材を盛り込み、幅広い知識が身につけられるとともに、さまざまな角度からアプローチし、思考を深めることができるよう工夫されている。(①②④⑤)

## 3. 学習指導要領に基づく観点

「話す・聞く」の単元において目標や学習の流れが明示されていることや、「学習の窓」において学習ポイントが明確に示されていることで「話す・聞く」能力の育成を図ることができる。漢字力の育成については、書き込み式で学習内容の定着を図る問題が用意されているのがよい。さらに、中学生の気持ちに焦点化した教材が多く、生徒の興味関心をひきつけやすい。平易な表現の解説がわかりやすく、言語に関する説明が多い。ノートの使いかたにはじまり、創作活動や、メディアリテラシー、新聞の比較など社会生活に関わった教材の工夫により、発達段階に即した「書く」活動が充実している。読書案内にも解説がつき、わかりやすくなっている。一方、教材によっては説明過多であると感じられることがあり、生徒自身の気づく力を育みにくい。教材ごとの目標は記載されているが、5領域にそつてもう少し詳しく記載されていればより指導の助けになる。(①⑩)

## 4. 全国学力・学習状況調査の結果に基づく観点

巻頭や巻末に情報の集め方やメモの取り方、語彙リスト等があるほか、多岐にわたる情報活用について取り扱っている。互いの発言を検討する部分に工夫を要するものの、話す・聞く活動が豊富である。(①②③④)

## 5. 外的要素に関する観点

学年が上がるにつれてフォントが小さくなり、より多くの情報量が得られる。また資料や写真の数は低学年の方が多く、教材への興味関心をひきやすい。古典の文字が大きく読みやすい。(①②③)

## 6. 構成・配列に関する観点

基礎的知識と技能の定着をもちろんのこと、発展的な学習内容がわかるように工夫されている。特に巻頭の「学習の見通しをもとう」では領域やねらいを表で示してあり、生徒自身にも学習の流れがわかりやすくなっている。(②③④)

## 7. 資料その他に関する観点

自学自習のためには漢字の単元の充実が求められる。しかし、文章理解を助けるもの、イメージを豊かに広げるもの、効果的に解説するものなど様々な資料が用意され、出典も明らかである。(①②③)